

		小学部	中学部	高等部
指導の重点		身辺自立の確立	規則正しい生活の習慣化	自立的生活への移行
生活習慣	食事	○ 指導者と一緒に食前に手を洗う。	○ 一人で食前に手を洗う。	○ 自主的に食前に手を洗う。
		○ 一人で食べる。	○ 食事のマナーを身につける。	○ マナーを守り食事をする。
	排泄	○ 指示を聞いて用をたす。	○ 尿意・便意を感じて自分から用をたす。	○ 便器の回りを汚さないで用をたす。
	入洗面	○ 指導者と一緒に、歯磨き、洗面、入浴をする。	○ 一人で歯磨き、洗面、入浴をする。	○ マナーを意識して自主的に体を清潔にする。
	身だしなみ	○ 前後、表裏、はみ出しを意識して指導者と一緒に服装を整える。	○ 身だしなみを意識して一人で服装を整える。	○ 身だしなみを意識して自主的にむだ毛、頭髮、服装を整える。
		○ 清潔なハンカチ、ちり紙を持っている。	○ 清潔なハンカチ、ちり紙を一人で用意する。	○ 清潔なハンカチ、ちり紙を自分で用意して用途に合わせて使う。
	整理整頓	○ 指導者と一緒に身の回りをきれいにする。	○ 一人で物を管理して身の回りをきれいにする。	○ 自主的に物を管理して身の回りをきれいにする。
		○ 指導者と一緒に入浴の準備をする。	○ 一人で衣類をたたみ、決められた場所にしまう。	○ 自主的に衣類をたたみ、分類してしまう。
	掃除	○ 指導者と一緒に掃除用具を使用して簡単な掃除をする。	○ 掃除用具を使用して決められた場所を一人で掃除をする。	○ 掃除用具を使用し、手順に従い汚れを意識して自主的に掃除をする。
		○ 掃除後、指導者と終了の挨拶をする。	○ 掃除後、一人で終了の報告をする。	○ 掃除後、自主的に終了の報告をする。
	洗濯	○ 指導者と一緒に洗濯機を使用する。	○ 汚れを意識して一人で洗濯をする。	○ 汚れを意識して、天気や洗濯物の量などを自分で考えて、自主的に洗濯をする。
		○ 指導者と一緒に定期的に寝具を洗う。	○ 一人で定期的に寝具を洗う。	
	処寝理具	○ 指導者と一緒に布団の上げ下ろしをする。	○ 一人で布団の上げ下ろしをする。	○ 周りの状況に配慮して布団の上げ下ろしをする。
	日課	○ 日課の流れが分かり、見通しを持ち、生活する。	○ 日課に沿って決まりを守り生活する。	○ 自分で日課を考え決まりを守り生活する。
○ 指示を聞いて集会に参加する。		○ 時計を見て一人で集会に参加する。	○ 5分前行動を意識して自主的に集会に参加する。	
コミュニケーション・社会性	挨拶	○ 指導者や友だちと一緒に挨拶する。	○ 自分から「おはよう」「さようなら」などの挨拶をする。	○ 自主的に日常の挨拶や報告をする。
	遊び・余暇	○ 指導者と一緒に選択肢の中から遊びを選んで過ごす。	○ 一人で選択肢の中から遊びを選んで過ごす。	○ 自分で考えて一人で余暇時間を過ごす。
		○ 指導者と一緒に好きなことをして遊び、人との適切な関わり方を身につける。	○ 友だちと簡単なルールを守って遊び、人との適切な関わり方を身につける。	○ 自主的にグループでルールを守って遊び、人との適切な関わり方を身につける。
	経験の拡大	○ 単独帰省に結びつく生活体験をする。(散歩)	○ 単独帰省を意識した生活経験を重ねる。(散歩、交通機関利用、電話利用)	○ 公共の場でのマナーを身につけ単独帰省を行う。
		○ 調理に親しむ。(おやつ作り)	○ 調理、外出などの活動に取り組む。	○ 自立生活体験・外出などの活動に取り組む。
		○ 指導者と一緒に外出の体験をする。	○ 好きな物や欲しい物を一人で選び、指導者と一緒に買い物をする。	○ 必要な物を自分で考えて買い物をする。
		○ 簡単なルール、善し悪しについて話を聞くことができる。	○ テレビなどを通して身近な社会の出来事に関心を持つ。	○ 新聞やニュースを通して社会に関心を持つ。
	○ 奉仕活動を体験する。(ゴミ拾い)	○ 奉仕活動を経験する。(草取り、ゴミ拾い)	○ 奉仕活動を通して地域に貢献する。	
	役割	○ 指示を聞いて簡単な掃除当番や係活動をする。	○ 一人で掃除当番や係活動をする。	○ 自主的に掃除当番や係活動をする。
		○ 舎生会の一員として活動に参加する。	○ 舎生会の一員としての意識を持ち、活動に参加する。	○ 舎生会の一員としての意識を持ち、積極的に活動する。
健康・安全	健康	○ 指示を聞いて手洗い・うがいをする。	○ 一人で手洗い・うがいをする。	○ 自主的に手洗い・うがいをする。
		○ 不調時は指示を聞いて休養する。	○ 体の変調に気づき、不調時は休養する。	○ 自分の体調が分かり、不調時は自主的に休養する。
		○ 指導者と一緒に薬を飲む。	○ 自分から薬を飲む。	○ 薬を自己管理する。
	安全	○ 非常時は大人と一緒に行動する。	○ 非常時は大人の指示を聞いて行動する。	○ 非常時は大人の指示を聞いて周囲の安全を考えて行動する。
		○ 指導者と一緒に道路を安全に歩く。	○ 交通ルールを守り指導者と一緒に道路を安全に歩く。	○ 交通ルールを守り一人で道路を安全に歩く。

(ワークの視点で) 卒業までに身につけたいこと (第3回ワークグループ研記録より)

心	精神力・気力・人格	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝や謝罪が言える、失敗を認めることができる素直さ。 ・諦めない心、がんばる気持ち→責任感 ・仕事に対する意欲 (チャレンジ精神、積極性) ・仕事を辞めずに続ける力
	精神の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる場所、よりどころ、家族の愛情 (生徒によっては…) があることを分かる。→「帰る場所 (居場所) があるから頑張ることができる」 ・相談することができる、相談できる相手を作ることができる。 ・リフレッシュ方法、気持ちを切り替える方法を身につける。 ・将来に対する具体的イメージをもつことができる。
技	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことができる。身辺処理 (排泄、着替え、食事) ・整容、身だしなみ、持ち物の準備・管理 ・衛生観念、清潔 (手洗い、うがい、歯磨き、入浴)
	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、返事、話の聞き方 (人の顔を見て話を聞く)。 ・困った時、分からないとき、手伝って欲しいときに伝える力。 ・報告、連絡、相談、依頼。
	ルール・マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・会社のきまりを守る。 ・人を不愉快にさせない、対人関係を悪化させないためのマナー
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・(作業のルール、手順通りに) 長い時間の作業を正確にできる。 ・仕事のペース配分→「常に全力！」ではもたないこともある。 ・指示されたことを忘れないようにメモをとる習慣。(必要な国語力も。) ・お金の使い方・管理の仕方を知る。 → (給料でいいことがあると) 働く意欲につながる。
体	体力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・休まない体力 ・働くための健康管理 →体調、身体能力 (仕事に必要な筋力、仕事の動きに支障が出るほど太りすぎない など)
	危険認知	<ul style="list-style-type: none"> ・危険なものを認知、回避する力。 ・「熱い」「痛い」を知っている、分かること。 ・周囲に危険を及ぼさない。 →無茶をしない、「できないことはできない」ことを判断する力。

H26年度 生活単元学習年間指導計画 年間目標における要素

資料 3

	生活	態度	社会生活	成就感	興味関心	活動内容を理解	マナーやルール	集団、役割
小低	生活に結びついた活動	楽しみながら参加	日常生活や社会生活につながる様々な活動を経験し	成就感を味わう	興味関心を広げる			
小4~6	生活に結びついた活動	意欲的、主体的に取り組む	日常生活や社会生活に必要な力を身に付ける	成就感を味わう	様々な活動をとおして興味関心を広げ			
中1	生活の幅を広げる	主体的に参加	生活に生かせる知識や技能の基礎を身に付ける			事前事後学習で行事の活動内容を理解		
中2	生活の幅を広げ	学習を楽しむ活動内容に見通しをもち、主体的に参加	生活に役立つ知識や技能の基礎を身に付ける				社会生活に必要なマナーやルールを理解することができる	
中3	生活の幅を広げる	活動内容に見通しをもち、主体的に参加	生活に役立つ知識や技能の基礎を身に付ける				社会生活に必要なマナーやルールを知り、生活の中で生かす	
高1~3	様々な生活経験や学習を通して	責任をもって活動する態度	社会生活に必要な知識や技能、態度を身に付ける					集団の中での役割を意識し
高特	様々な学習や体験を通して	行事や活動に主体的に参加し	卒業後の生活に必要な知識や態度を身に付ける					自分の役割を理解し取り組む態度を身に付ける

<ワーク：作業学習（作業的単位）における支援について>

	小学部 「できた」	中学部 「自分から、自分で」	高等部 「自己選択」「自己決定」
① 物を作る喜び・達成感	作る喜び・達成感 ○成果の実感 ・おいしい、楽しい経験。 →友達、教師と共に。 ・自分の成果が見えるよう提示	○成果の実感 ・実習の給料。 →態度にもつながる。	○成果の実感 ・自分で作ったものを使ったり食べたりしてみる。 実際に使われているところ(卸しているものは売られている店)を見に行く。 →自信、責任感
	販売（またはそれにつながる）活動のステップ 小低：自分の物を作る経験。 小高：プレゼントなど、身近な人に喜んでもらう物の製作・ 中：校内販売を中心とした身近な人への販売。買い手の反応を知る、称賛される経験。 高：地域、商店での販売、店舗への卸し。売り上げの実感。品質の保持と向上。 企業：品質、利益（売り上げ）、信用などの追及。		
	○活動の見通し ・教師の実演による提示 ・手順表 ・一連の流れを経験 ・上の学部の販売活動を見ておく。 →実際に見る、またはICTの活用。	○活動の見通し ・写真、シンボルなどでの視覚的に分かる提示 ・実物での全量提示 ・どの班でも同じ作業（活動）内容の提示 →シンボルの共通化	○活動の見通し ・始めから完成まで経験して（知って）おく。 ・出来高表（数、金額） →終わり（目標）が見えれば、見通し・意欲になる。出来高アップにもつながる。
○意欲 ・興味関心に沿った活動設定 ・称賛 ・1つステップアップした（手ごたえのある）活動に取り組む	○意欲 ・ST（作業態度）カードにより、項目ごとに○×で評価（即時評価） →課題をクリアできたことが視覚的に分かる。次の目標をもつことができる。 ・進んで報告できる状況を作る →ベルの活用、職員の配置等 ・実態に合わせた評価（視線を送る、ハイタッチ、シール等） →生徒が「認められている」という思いをもてるように。	○意欲 ・（実態によっては）できる仕事に取り組み、仕上がった製品に自信や達成感に。 ・良い作業態度や取り組み、改善された点が見られた場合に称賛する。 ・作ってみたい商品や製品を自分で選択する。 ・目標達成のための出来高表。	

	課題		<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解、情報交換 →補助具の使用法、支援方法、評価基準の、職員間での共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・希望や実態を考慮した作業班編成 ・生徒の作業意欲とねらいのずれ ・作業へのモチベーションの維持と向上の工夫 ・喜びや達成感を得るのが難しい生徒への支援 ・実態が重くなっているという現状から、分業化への移行
	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のステップアップ →小低:全行程を経験できる活動で見通しをもつ 小高:(作業学習につながる)分業を学ぶことができる活動・題材	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ作業種を続けるか、複数の作業種、工程を組み合わせるか →とらわれずにできる幅は広い方が良いが、実態にもよる。	

② 作業態度、 基本的な知識や技能		小学部 「できた」	中学部 「自分から、自分で」	高等部 「自己選択」「自己決定」
	作業態度	○態度面の指導 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組もうとする気持ちの育成。 	○態度面の指導 <ul style="list-style-type: none"> ・STカードを活用して確認と定着を図る。 →実習、普段の作業学習の両方。 →作業日誌と連動した評価。 	○態度面の指導 <ul style="list-style-type: none"> ・行う理由の指導 →ただやらせるだけでは、形式だけになったり意欲も低下したりする。 ・インターシップ、実習など「実社会」とのつながりの機会を利用した指導。 →自分が何をすべきか考え、「やらされる」から「自分でやる」意欲になる。 ・日誌に態度面の評価項目を入れる。(すべての班でそろえて)
	道具の扱い	○道具名 <ul style="list-style-type: none"> ・使用する道具を教師が準備し、使いながら覚えていく。 ・写真カードとマッチング 	○道具名 <ul style="list-style-type: none"> ・写真カード+名前掲示 ・棚等への表示 →理解を深めると同時に片付けの習慣化(「元の場所に戻す」の定着) 	○道具名 <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めのオリエンテーションなど事前に道具の名前、用途、使い方を説明。似たような道具でも違いを教える。 ・道具や材料の置き場所を決める。 →一人で準備や後片付け

	<p>○使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険な器具（包丁、ガス器具等）の取扱いは経験程度。中学部になってから深めていくことでよいととらえている。 	<p>○使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師が実演し、基本的な使い方を習得 写真入りの使用手順表 	<p>○使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全面への指導、操作手順の確認、ルール化。危険な使い方、適切でない場面があったときはその場で中断し、何がいけなかったか、どうしたら良いかを考えさせ、指導する。
身支度・身だしなみ	<p>○身支度</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒にいる。 できないときの依頼。 	<p>○身支度</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒同士で協力、確認する活動を取り入れる。 	<p>○身支度</p> <ul style="list-style-type: none"> エプロンなど作業で身に付けるものは一人できるものに。（道具の方を工夫）
<p>身支度のステップ</p> <p>小：教師と一緒につける、ひもを結ぶ機会を日常的に設定する</p> <p>中：支援の工夫で、一人で取り組めるように（ひもを結べない人はマジックテープ、後ろで結べない人は前で結べるひもの長さにするなど）</p> <p>高：キャップ、エプロン（スモック）など、実際に社会でも使われているものにシフトさせていく</p> <p>企業：キャップ、スモック、白衣（実用衛星面重視）</p>			
	<p>○身だしなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活を通した基本的な指導。 	<p>○身だしなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての班で、作業朝礼での身だしなみ確認を行う。項目の統一。 →高等部との統一。 	<p>○身だしなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業朝礼の中で生徒同士によるチェック
課題	<ul style="list-style-type: none"> 道具の名前 →実物で覚えていくように。（写真でマッチングできても実物が分からなければ…） 包丁、ガス器具の取り扱い方法（指導方法）の共通理解。 →部屋への掲示など 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除 →手順、机・台の拭き方などの統一が必要（高とも） 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の課題や支援、生徒の心身の状態、問題行動が起きた時の対応の仕方などを職員間で共通理解が必要 生徒にどこまで求めるのか職員間の更なる共通理解が必要
意見			

③ コミュニケーション		小学部 「できた」 ○話し方・聞き方 ・体を向ける、物を置く、手を止めるの徹底。 ・大事なことは、流れの中で話さず、流れを止めて話す。	中学部 「自分から、自分で」 ○話し方・聞き方 ・話す相手を見る、発言するときのルール。	高等部 「自己選択」「自己決定」 ○話し方・聞き方 ・挨拶、表情、態度、返事、報告・質問の仕方、言葉づかい、姿勢の確認
	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の仕方のルール（挙手、指名されてから話す、言葉遣い、話すとき、聞くとき など）を視覚的に示す。 →ルールについて、共通のイラスト（シンボル）を教室に掲示する、スライドを使用する授業ではどこかに写し込む等 →学級、学年・学団、全体と、使う集団を広げていく。 ・場に応じた言葉遣い →日常場面での「です」「ます」の徹底 			
		○報告・依頼 ・できないことをお願いすることができるように。	○報告・依頼 ・カード、ベル等、実態に応じたツールを活用。」 ・報告タイミング →タイミングをつかみにくい生徒には、終わりが見えやすい作業に取り組むようにするなどの配慮を。	○報告・依頼 ・確認や報告の場面を多く設定。 ・「分からない」「できない」を自分で認め、発信できる環境づくり。 →発信することが自分のメリットになるという経験を積んでいけるように。 ○その他 ・生徒間のコミュニケーションの場面や自分の考えや思いを発言する場面を設定。
	課題		・指示内容、指示量の適正化	・報告、質問の機会が少ない。 ・決まった報告や質問はできるが応用がきかない。
意見	・コミュニケーションカードを学校全体で統一して いたらよい。			

◎各学部・学年における買い物学習のねらい

高等部 3年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算内で計画通りの買い物ができる。 ・ 買い物した内容をお小遣い帳につけることができる。
高等部 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売り場を一人で探し出し、予算の中で必要な材料、分量を購入することができる。 ・ 会計において、小銭を活用しながら買い物することができる。
高等部 1年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買う物の組み合わせを工夫し、予算内で目的に適った買い物をすることができる。 ・ 電卓を使用して、合計金額を計算することができる。
中学部 3年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分からないことを質問しながら、一人で買い物することができる。 ・ 物の値段の高い安いを意識しながら買い物することができる。
中学部 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手掛かりを活用しながら、一人で指定された物を買うことができる。 ・ 価格や内容量など表示に注目して、目的にあった買い物をすることができる。
中学部 1年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の支援を受けながら、指定された物を買うことができる。 ・ 価格や内容量など、表示の見方を知る。
小学部高学団	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物の楽しさを味わいながら、目的や流れを覚えて実践することができる。
小学部低学団	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と一緒に買い物を体験することができる。

<ライフ：買い物における支援について>

(買い物の対象)

低学年：誕生会のおやつ作りの材料
 高学年：宿泊学習の調理の練習の材料

1年：実習お疲れさん会—焼き肉パーティの材料
 2年：実習の給料で昼ご飯を買いに行こう
 3年：一人でやってみよう—おにぎりを作ろうの材料

1年：栄養バランスを考えて弁当を選ぶ単元—弁当
 2年：栄養バランスを考えて弁当をつめる単元—おかずの材料
 3年：栄養バランスを考えて弁当を作る単元—材料

	小学部 「できた」	中学部 「自分から、自分で」	高等部 「自己選択」「自己決定」
①買い物の準備			
目的の理解	・写真やパワーポイントを用いて、視覚支援による提示。	1. 2年：パワーポイント、写真、イラストを用いて、視覚的に分かりやすく説明。 3年：言葉による簡潔な説明、気付きを促す問いかけ	1年：栄養のバランスについて栄養教諭から学習。バランスの取れた昼食の購入についての学習。 2年：バランスの取れたおかずレシピの学習。 3年：価格表示(税込価格)の説明。予算の表示。
必要な物・量	・低学年は一人1個、高学年は複数個購入 ○買い物メモを活用 低学年：実物のカラー写真 高学年は：写真+文字+量	○学習シートを活用 1年：写真付きで、買う物と量を提示 2年：買う物、金額を自分で記入、写真を貼り作成 3年：必要な物、量、予想金額を自分で記入	○学習シートを活用 1年：買い物リスト、買った弁当評価表 2年：買い物リスト、弁当レイアウト表、分量計算表(小遣い帳) 3年：買い物リストアップシート(下見を行 値段を確認)、分量計算表、(小遣い帳)
予算	・不足なく出しやすい、500円硬貨や1000円札を教師が準備して渡す。	1年：千円札(事前に店で金額を調べて不足ないように準備) 2年：前期校内実習で得た給料(予算内で買う) 3年：自分で予想した金額	1年：500円(予算内で購入) 2年：値段を調べて、安い物を購入 3年：一人一人の決まった予算内で購入
課題	●買い物メモの活用するためには。 →・文字と物のマッチングができるようにする ・自分で買い物メモを書いたり作ったりする。 ・日常的にメモを用いたおつかいに慣れておく。	●将来的に一人で買い物できるようになるために、買った物の合計金額を計算し、支払うお金を概算できる力を身につけること。 →電卓が使用できると良い ●値段の高い安いを意識しながら買い物ができる。 ●税込、税抜きの表示の見方を身につけること。	●値段表示(税込価格)の見方。 ●値段を調べて安い物を購入できる。 ●おおよその値段を予測できる力。 ●小銭を活用して支払いができる。 ●分量計算ができる。 ●2～3日持ちの食材が購入できる(賞味期限の見方)
意見		○値段の高い安いを意識しての買い物をするために、チラシの見方を身につける。(高等部で学習している) ○学習シートは、銘柄を指定しての買い物から、銘柄の指定なしでも買い物できるようにする。	○下見に行くことは、場に慣れておくことや買い物への意欲を高めることができるので効果が大い。(小学部でも取り入れていきたい)

		小学部 「できた」	中学部 「自分から、自分で」	高等部 「自己選択」「自己決定」
② 手順・マナー	手順	<p>低学年：店での動きを模擬練習。 当日ミニ絵カードを携帯し、必要に応じて見て確認。</p> <p>高学年：レジの手順を事前練習。 売り場の表示の手がかりを写真で確認</p>	<p>1年：メモ用紙サイズの写真付き買い物カードを見ながら買い物。 <u>分からなくなったときには担当教師に聞きに来ることを事前に確認。</u></p> <p>2年：ワークシートの「買い物メモ」を見ながら注文すること、<u>それが難しいときには、ワークシートをお店の人に見せて買い物することを事前に確認。</u></p> <p>3年：自分で書いた買い物メモを持って買い物。 価格や内容量の表示の写真を示し、どこを見れば良いかを事前に確認。<u>電卓を携帯し、店内で合計金額と所持金の差を計算することを事前に確認。</u> <u>分からないことがあったとき、店員や教師にどのように質問するかを質問カードで事前に確認。</u></p>	<p>1年：学習シートを見ながら、電卓で合計金額と所持金を確認。(500円を生徒の実態に合わせた形で持たせた。)</p> <p>2年：注意事項の提示。(電卓の活用)。消費税の確認・値段の見方。賞味期限のラベルの見方。メーカーと値段の違い。エコバッグの活用。セルフレジの使用の仕方。)</p> <p>3年：レシピからリストアップ。 予算オーバーの場合はT1に相談。 買い物後、レシートを見ながら小遣い計算に記入。</p>
	マナー	<p>・絵カードで確認。 低学年はミニ絵カードを携帯し、必要に応じて見て確認。</p>	<p>1年：黒板に文字で提示し、一斉指導の後に個別に確認。 2・3年：言葉による確認。</p>	<p>1年：口頭で簡単に確認。 2年：注意事項の提示。エコバッグの活用・セルフレジの活用について確認。 3年：スライドでマナー確認。カゴの片付け、順番の確認。</p>
	課題	<p>●レジの流れをスムーズにするためには、 →学年や実態に応じた財布を用意し、おつりやレシートをなくさずに持ち帰ることができるようにする。手順に「買った物を入れる台まで移動すること」を入れる。</p> <p>●買う物の見つけにくさへの対応。 →品物を探すには、「低学年ではそのコーナーまで誘導し、写真などの手がかりで探せない場合は先生に聞く」、「高学年では(教師と一緒にでもいいので)店の人に聞く」ということができるようにしたい。</p>	<p>●分からないことや困ったことがあったときの質問スキルを身につけることが必要。 ●表示の見方を身につける。(内容量や税込み価格を知るにはどこを見れば良いか)</p>	<p>●1年：実態に合わせた指導。 ●2年：賞味期限の確認。セルフレジの活用。 予算オーバーしたときの対処の仕方。 ●3年：店員に聞くことのできるコミュニケーション能力。</p>
	意見	<p>○「レジを通さない商品はポケットに入れない」、「売り物の袋を破かない、口に入れない」というマナーを、早い段階から学習する。</p>	<p>○事前学習でできていることが、実際の場面になるとできないことが多いため、買い物の経験を積むことが重要。</p>	

		小学部 「できた」	中学部 「自分から、自分で」	高等部 「自己選択」「自己決定」
③その他 (買い物に必要な力)		<ul style="list-style-type: none"> ・財布の使い方やお金のやり取りに慣れるために、低学年で遊びの中に買い物ごっこを取り入れていく。 	<p>1年：レジでお釣りを受け取った後の処理の仕方 (カゴを台に移動させた後、両手を使って財布に入れる) 商品の袋つめの仕方 (汁が垂れる物はビニール袋に入れる、硬い物を下に入れる等) →たくさん買い物をしなければいけないときに、学校で事前に袋詰めなど練習してみ、店で実践してみると良い。</p> <p>2年：残金で買い物をすることができる柔軟性</p> <p>3年：困ったときに店員に尋ねる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カタログ、チラシ、i p a dの活用。 ・予算に加えて「〇人分量」などの具体的な分量の提示による買い物。 ・相場の学習。 ・買い物の際は、軽い物→常温品→冷たい物の順に選んでいくこと。 ・特売品を買いだめして冷凍しておく知識。 ・場合により「お得な物」と「質の良い物」を選ぶときの学習。 ・食べ物以外の買い物学習。 ・小遣いを決めてお金を使うことの経験。 ・「ためる」貯金して買うこと。 ・小遣い帳の活用。(家計簿につながる。)
課題		<ul style="list-style-type: none"> ●家庭への広げ方はどのようにすれば良いか。 →家庭への広げ方は、親と一緒に買い物の場に行き、一つだけ好きな物を買う (自分で支払う) というような経験を積む。また、学校から買い物の宿題 (遠足のおやつなど) を出すなどしてはどうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ●家庭での経験の差が非常に大きい。
意見			<ul style="list-style-type: none"> ○広告の見方、特売のシールの意味など高等部で学習している。中学部でも取り入れてはどうか。 ○セルフレジも有効。 ○中3で小遣い帳の付け方に取り組んでいる。(数人の生徒対象、家庭で買った物をレシートを見ながら学校で小遣い帳に記入) 	<ul style="list-style-type: none"> ○小遣い帳 (出納帳) は高1から取り入れたら良い。 ○失敗したとき (税込価格の見間違い) や予算オーバーしたときなどの対応法を教えることは実際的で効果的である。 ○卒業後にむけて、生活経験の差を縮めておく必要がある。 →寄宿舎での取り組み参考 (余暇活動で買い物、小遣い帳をつけ小遣いをためる、いろいろな買い物の経験をするなど) ○家庭との連携が必要。

H26年度宿泊学習・修学旅行 各学部、学年の目標における要素

資料 7

	基本的な身の回りのこと	集団行動	生活経験の拡大	公共施設の利用、マナー	余暇	計画・実行	文化	その他
小3	基本的な身の回りのことを自分でする力	友達や教師と一緒に、楽しく意欲的に活動						【家庭を離れ】 家庭を離れ、宿泊できる
小4～6	身の回りのことを自分でできる力や態度	集団生活への適応力を高める 友達と協力して進める態度	野外活動を体験し、生活経験の拡大を図る					
小6 修学旅行			新幹線、地下鉄などの公共交通機関やホテルを利用する体験を通して、生活経験の拡大を図る	新幹線、地下鉄などの公共交通機関やホテルを利用する体験	科学館や動物園など、様々な施設の利用を通して興味関心の幅を広げ、将来の余暇活動の広がり			【小学部生活のまとめ】旅行の楽しさを味わい、小学部生活のまとめとして良い思い出をつくる
中1		集団行動に必要な決まりを守る		公共施設の利用をとおしてマナーを学ぶ	様々な体験をとおして、余暇活動を広げる			【復興】 三陸鉄道を利用することで復興に向かう地域の様子を知る
中2		集団行動に必要な決まりを守る グループ活動の仲間と協力して	様々な活動を通し、体験活動の充実	マナーを守りながら、公共の施設を利用する		当日の予定を計画		
中3 修学旅行		集団行動に必要なルールを守り楽しく安全に旅行	生活経験の拡大を図る	ホテル等の公共施設や様々な公共交通機関を利用し、利用の仕方を学ぶ	日本を代表する電波塔及び公共遊技施設を見学・体験する		日本を代表する電波塔及び公共遊技施設を見学・体験することにより、その役割や社会見聞を深め	
高1		仲間と協力して体験活動	生活経験の拡大を図る	公共施設の利用の仕方を学ぶ		計画・実行し、体験活動	岩手県内の文化についての知識や理解を深め、特産品に親しむ	
高2 修学旅行			旅行の楽しさを味わい、様々な経験を通して	交通機関や公共施設の利用の仕方やマナーについて学ぶ			訪れる地域の大阪や京都の文化や歴史に触れ、その地域と自分の居住地との違いを感じる	
高3		グループ活動を学年や班の仲間で協力して行う		公共交通機関や施設の利用を通して、マナーや療育手帳の利用の仕方	都市部の余暇施設の利用の仕方		盛岡市の歴史や文化にふれ	【就労】 事業所見学をとおして卒業後の就労生活に役立てる
高1 特		学年や班の仲間で行動する見通しをもち	生活経験の拡大を図る	公共施設の利用に慣れる	北上市内の余暇施設の利用			
高2 特 修学旅行		仲間や教師と集団行動をしようとする見通しをもち		飛行機等の交通機関や公共施設のマナーを意識したり	公共の遊技施設等の活動に主体的にのぞむ		大阪や京都の建物や雰囲気に関心	
高3 特		学年や班の仲間で行動する見通しをもち		公共交通機関や施設の利用を通して、マナーを学習	都市部の余暇施設の利用の仕方		盛岡市の街並みや文化にふれ	【就労】 事業所見学をとおして色々な仕事を知る

H26年度 校外学習・宿泊学習 行き先・活動内容等一覧

資料 8

	校外学習 1		校外学習 2		宿泊学習	
	行き先	活動内容 など	行き先	活動内容 など	行き先	活動内容 など
小低	イオン陸前高田	BRT乗車、 買い物（調理材料）			福祉の里センター	プール、光遊び、七宝焼き体験
小4～6	イオン釜石	三陸鉄道乗車、 買い物（父の日のプレゼント材料）	大船渡消防署、 大船渡魚市場	消防署、市場見学	県南青少年の家	野外炊飯、キャンプファイヤー、ウォークラリー
中1					盛岡子ども科学館、県立図書館、ラウンドワン、繋温泉	三鉄・JR利用、娯楽施設・公共施設の利用、わんこそば体験
中2					アメリカワールド、花巻文化村、花巻空港、花巻温泉	グループ活動、公共施設の利用、生徒のみの部屋割
高1	遠野ふるさと村	そば打ち体験、 散策（ウォークラリー）			北上鬼の館、アメリカンワールド、ヤングボウル、ふるさと体験館北上、ホテルティープラザ北上	見学、グループ活動、さくら染め体験、ホテルでの昼食バイキング
高2	ホテルグランシェール花巻 いわて花巻空港	昼食バイキング、空港見学				
高3					鶯宿温泉、手づくり村、盛岡市内各施設、盛岡中央卸売市場	手づくり村での体験活動、盛岡市内班活動、市場見学（将来の生活に役立てる）
中 わかば 1	イオン釜石	三陸鉄道乗車、 買い物（決められた金額内で）				

<全校授業研究会 ワーク：作業学習における支援について>

		小学部 「できた」	中学部 「自分から、自分で」	高等部 「自己選択」「自己決定」
①物を作る喜び・達成感	物を作る喜び 達成感	<ul style="list-style-type: none"> 作った物を誕生会で食べる。 作りたい物を児童が意見を出し合い決めた。 必要な材料を考え、購入し、意欲を高めた。 一人で全工程を行い、手順表を見てできたという達成感を得られるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標数を設定し、授業の最後に個数と目標を照合。 生徒の実態に応じた作業内容の開発。 作業のつながりが分かるように提示。 	<ul style="list-style-type: none"> 光陵祭で売り上げ10万円を意識するための出来高表の提示。 任せられた製品について、材料購入から、製造、販売まで行う。 自分で取り組んでみたい商品を選択。
②作業態度・基本的な知識や技術	身だしなみ 道具の準備・管理・片付け 知識を活かす・身につける	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみはできるところまで自分で行き、「できないときはどうするの？」の声掛けで教師や友達に頼むように促す。 道具は名前を聞いただけで探せない場合は写真を提示。 手順表で工程を一つずつ確認して進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会で2人1組での服装点検。 STカード（作業態度）を用いて振り返り。 道具の配置決め、決められた場所に片付け。 作業についての注意事項を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみは生徒間で作業朝礼で確認。 使用頻度の高い材料を各テーブルに設置。 材料、調理器具の返却場所の確認。 一人一人レシピを活用。（文字・画像） 分量計算の際、報告の徹底。秤ゼロ表示の確認。
③コミュニケーション	挨拶・返事話の聞き方 言葉遣い 報告・連絡 質問・相談 依頼	<ul style="list-style-type: none"> 説明に注目できるよう、作業するテーブルと準備するテーブルを分けた。 「できないときにはどうするの？」「できたら？」の声かけで、依頼や報告を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> STカード（作業態度）を用いて振り返り。 正しい報告の仕方を確認。 必要に応じて、正しい言葉遣い・姿勢・報告・質問の仕方を、カードや写真カードで示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の作業確認の返事 敬語の使い方 報告することは決まり（ルール）であることの確認。 報告の仕方の統一。 質問の仕方。相談の仕方。対処の仕方。